

3月の「どんぐりsカフェ」から

懐かしい歌と軽妙な語りで盛り上がる

3月17日の「どんぐりsカフェ」は、「うたごえsalon」を主宰している山田博さん（高森台在住）を招き、「うたごえSALON」を開



どんぐりsから

●先日、高森台・石尾台地区を対象とした地域包括ケア団地モデル事業（平成28年度）の内容が明らかにされた。この事業主体である愛知県の当初の説明によれば、この2地区を対象とした理由としては、高齢化率が高く、在宅療養支援事業所は石尾台地区に2か所しかなく、買物できる場所が少なく、移動等も不便である、等の問題を抱えていることがあげられ、事業がこうした問題の解消につながればと期待されていた。しかし、報告内容では、診療所の設置も、商業施設の設置もなく、地域の人々の“足”の問題の解決も示されていないというものであった。ニュータウンから選出された委員の努力にもかかわらず、甚だ残念な結果（状況）と言わざるを得ない。

●一方、愛知県主催の「地域包括ケアモデル事業活動報告会」（3月21日・吹上ホール）での豊明市の事例報告では、「まちかど保健室」の実現をはじめとする「医療・介護等一体提供モデル」事業が市、藤田保健衛生大学、UR都市機構の3者の連携によって展開されているという。この違いが一体どこからくるのか。そもそも「地域包括ケア団地モデル」とは何なのだろうか……。 （藤城 栄一）

催した=写真。平日にもかかわらず33名の参加があった。アコーディオンの生演奏をしてくださった石川義夫さんの軽妙なおしゃべりを楽しみながら、「早春賦」などの春の歌、「いつでも夢を」などの昔懐かしい歌、全20曲を歌った。皆さんの笑顔と澆刺とした歌声が会場一杯に溢れ、楽しいイベントになった。終了後、「楽しかった」という声何人かの方から寄せられた。機会をみて開催したい。（藤城 栄一）

総会と講演会のお知らせ

2017年度の「どんぐりs」（NPO法人高蔵寺ニュータウン再生市民会議）の総会および講演会を**5月21日（日）**、東部市民センター第2集会室で開催いたします。

- 総会：14:00～14:30（受付13:30～）
- 講演会：14:45～16:30（受付14:30～）
- 講師：竹内伝史氏（岐阜大学名誉教授）
- テーマ：高蔵寺ニュータウン再生とコンパクトな地域づくり～生活交流型交通計画を中心として
（講演会は会員以外の方も参加できます）。

4月の「どんぐりsカフェ」

テーマ：ケローナ姉妹都市・市民とつくるニュータウンのまちづくり

講師：羽後静子氏（中部大学教授、ブリティッシュコロンビア大学客員教授）

日時：4月15日（土）、13.30～16.00

会場：東部ほっとステーション（サンマルシェ南館1階） 参加費：無料。

高齢者・すまい・くらし面接相談

- まずはお電話ください：
080-4540-3553（どんぐりS事務局）
面接相談会日時：4月9日（日）23日（日）、
（ともに13:30～16:00）
会場：東部ほっとステーション

「大人のたまり場」始動から半年 絆づくり、設備も充実

「どんぐりs」の「すまい・くらし相談」部会が、「大人のたまり場」活動を開始し6ヶ月が経ちました。誰もが気軽に集まって、それぞれ自分にあった楽しみ方の出来る居場所として、幸い市の補助金の対象にもなりました。高齢者が入りやすい様にと入口のスロープに手摺工事を施し、暖房器具や座りやすい机や椅子も取り揃えました。

平成28年のニュータウン全体の高齢化率は31.7%となり、石尾台や押沢台の一部の丁目では50%を超えているところも出て来ました。この様な中で、老後の人生を楽しくそして有意義に過ごすことは、誰もが望んでい

私の朝・昼・晩

日本出身横綱の優勝に感激

怪我で14日目からの出場が危ぶまれた新横綱・稀勢の里の優勝で幕を閉じた大阪場所。普段余り相撲を見ない私でさえ、感激の涙がこぼれそうになった訳だから、相撲ファンにとっては、これ以上ない感動を覚えたに違いない。稀勢の里は、日本人として待ちに待った19年振りの日本出身横綱に昇進したばかり。相撲の世界では「心技体」と良く言われるが、横綱ともなれば一層強く、そしてより高度な要求に晒され、そのプレッシャーも並大抵のことではないと、察せられる。そんな中で肩を怪我し、痛みに堪えての優勝である。

本人は「何か見えない力が働いて自分の力以上のものが出せた」と振り返り、優勝杯を手にして涙したことに「恥ずかしいところをお見せして申し訳ない」との謙虚さである。自己を冷静かつ謙虚に見つめることが出来るかどうかで、この「心技体」が本当に培われるかどうか問われるのではないだろうか。相撲を国技とする日本人の横綱として、相撲界の模範となる様な大横綱を目指して欲しいものである。頑張れ！稀勢の里。暗いニュースばかりの中で、久し振りに痛快で溜飲を下げた出来事であった。（浪川 昇三）

ることではないでしょうか。そして、それを実現するためには、人と人とのつながりがキーワードになると考えます。また皆さんが昔楽しんだ囲碁、将棋、麻雀そしてビリヤードや初心者でも楽しめるミニ卓球等も取り揃えてお越しをお待ちしております。まずは会員の皆さんに是非一度お立ち寄り頂き、お菓子とお茶でダベリングを楽しみ、雰囲気味わって頂きたいと願っております。開催日は毎月第2、第4水曜日の13時～16時です。（浪川 昇三）

4月の「大人のたまり場」

●まずはお電話ください：

080-4540-3553（どんぐりS事務局）

日 時：4月12日（水）13.30-16.00

4月26日（水）13.00-16.00

会 場：「いつだって いま」（高森台6丁目東高森台集会所そば）参加費：200円



丹頂のバレードンス（北海道・鶴居村）森 健

「一日だけのほっとカフェ」賑わう

3月10日、サンマルシェ南館1階「東部ほっとステーション」で、同ステーション加盟10団体が一堂に会して、「一日だけのほっとカフェ」を開催した。それぞれ独自に各種の相談事業を立ち上げてきたが、相談者が少ないのが共通の悩み。そこで、考えられたのがこのカフェ。各団体が共同で開催し、各団体の認知度を上げ、合わせて各団体にまたがる相談事があればそれに応じようという試み。

用意した4つのテーブルは満席。おしゃべりを楽しんだり、各団体のチラシを手にとったり、コーヒーを楽しんだり、午後の1時半から4時まではあっという間にすぎ、結局約60名近くの方が見えられ、大盛況であった。（寺島 靖夫）